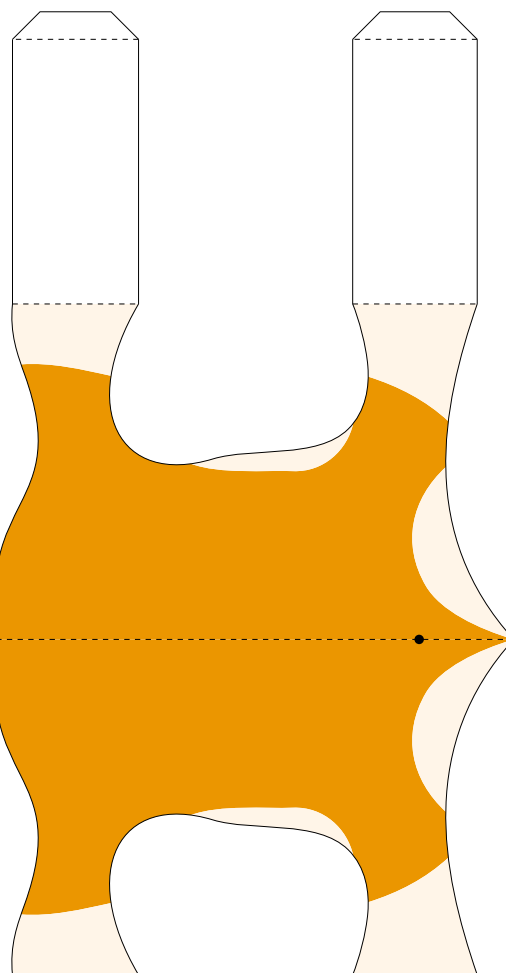
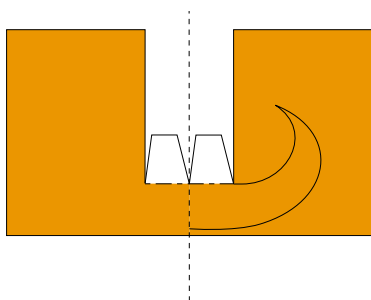
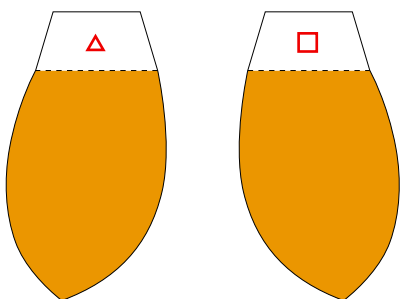
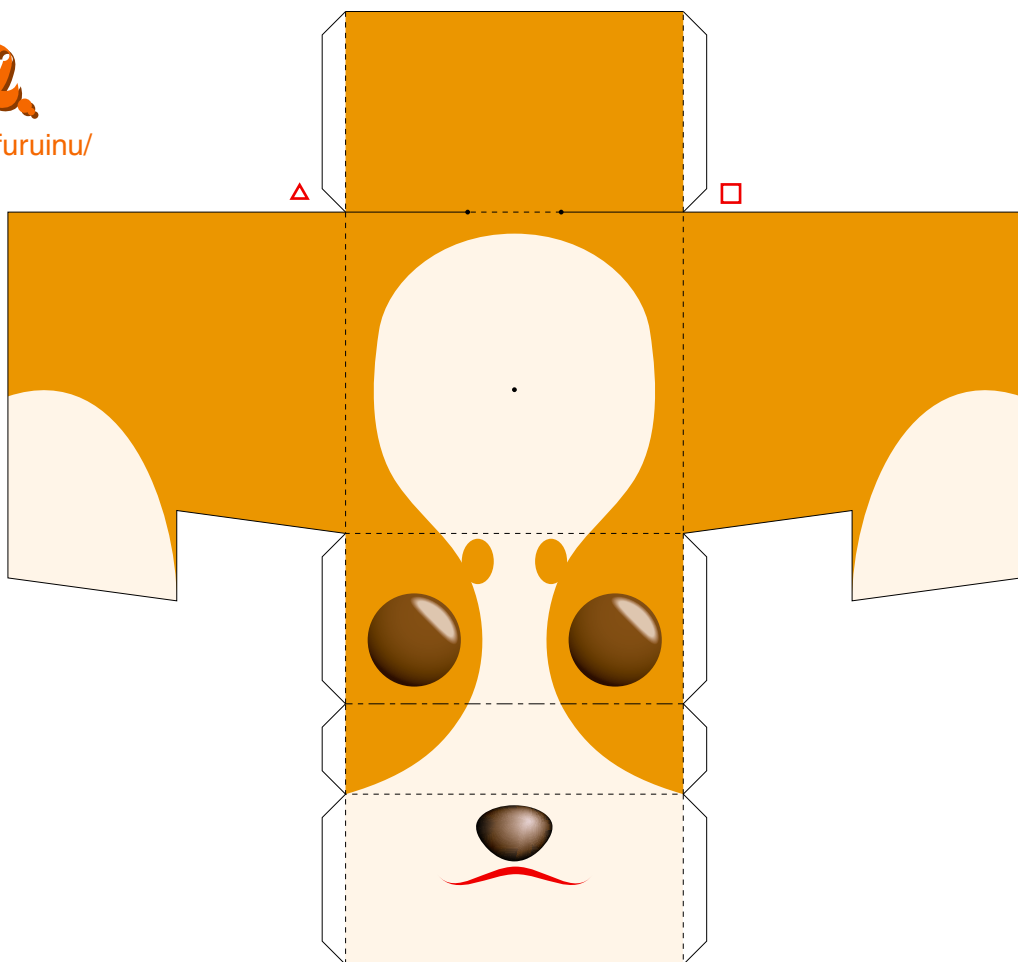


フルフルイヌ

URL <http://www.untitled.co.jp/furuinu/>

E-mail furuinu@untitled.co.jp



谷折り -----
山折り -----

タイプG フルフルイヌの作り方

01. まず、道具をそろえよう。

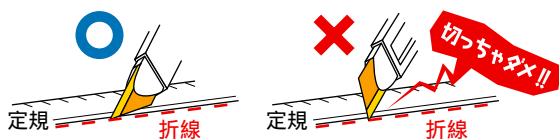


【準備するもの】

カッティングマット / 定規 / カッターナイフ /
木工用ボンド / スティックのり / ストロー / つまようじ

カッティングマットがなければ、段ボールなどで代用してください。定規は直線部分を切り抜く時に使用します。直線をキレイに仕上げないとゆがんでしまいます。カッターナイフはよく切れるものを準備してください。木工用ボンドは、つまようじとストローの接着に使用します。スティックのりは、紙部分の接着に使用します。水のりだと紙がのびて仕上がりがゆがんでしまいます。小さな部品がいくつかあるので、小物入れなどを一つ準備しておくことで良いでしょう。

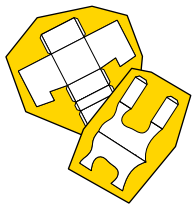
02. カッターナイフの背で折すじをつけよう。



後で折り曲げやすくするために、全ての折線にあらかじめ折すじをつけておきます。定規を折線にあて、カッターナイフの背を使ってすじをつけます。力を入れすぎたり、刃を立てすぎると紙が切れてしまうので注意しましょう。

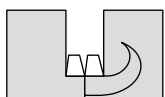
刃が上を向いているので、指を切らないように。
(本当は鉄筆という道具を使いますが、コンパスの針の部分を使って折すじをつけられます)

03. パーツを大まかに切り離そう。

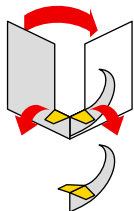


折すじをついたら、パーツを大まかに切り離しておきます。展開図からいきなりパーツを切り離そうとすると、小さいパーツやカーブの切り離しなどの作業がやりづらいので、まずはざっくりと大まかに切り離しましょう。

04. しっぽをつくろう。



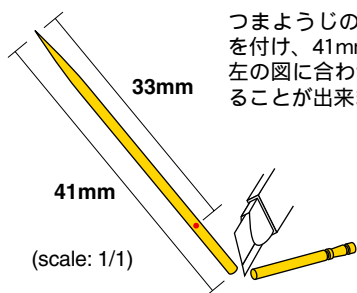
まず、まわりの四角いワクにそってパーツを切り離します。いきなりしっぽの形に切ってしまうように注意。



のりしろ部分を手前に折り、しっぽのウラ面にスティックのりをつけて二つ折りにして張り合わせます。この時、のりしろ部分を張り合わせないように注意。のりしろ部分にはのりをつけません。

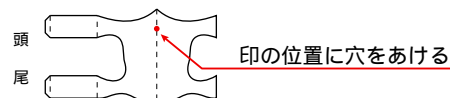
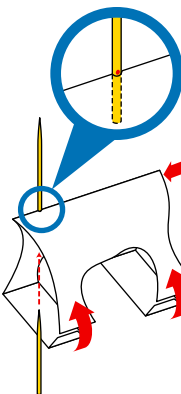
のりが乾いたら、しっぽの形に切り離します。のりしろを切り離さないように注意。

04. つまようじの長さを合わせよう。



つまようじの先端から 33mm のところに印を付け、41mm のところでカットします。左の図に合わせると、きれいに長さをそろえることが出来ます。

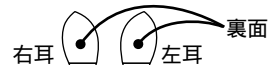
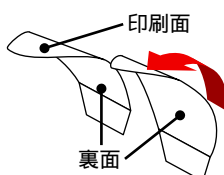
06. 胴体を作ろう。



胴体のパーツを切り離したら、胴体の丸い印のところに穴をあけておきます。足の部分ののりしろを接着して、しっぽを接着します。

穴の裏からつまようじを通し、印をつけたところまで引き出して木工用ボンドで接着します。ボンドをたくさんつけすぎると、乾くまで時間がかかるので注意しましょう。つまようじが垂直になるように、前後左右から確認して傾きを調節して下さい。傾いたままだと、後で顔の向きがおかしくなります。

07. 耳を作ろう。

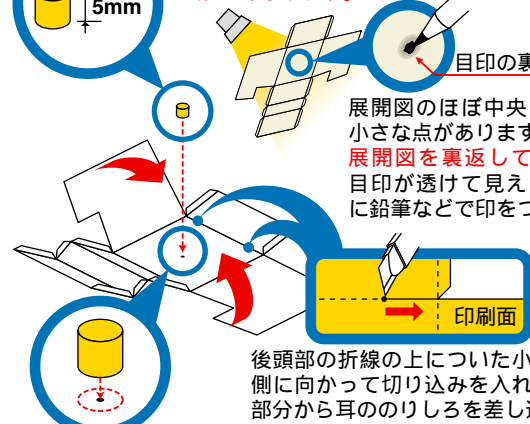


耳のパーツを切り離したら、耳にカーブをつけます。左右対称になるように、お好みでかわいい耳のカーブを作して下さい。左右を間違わないように注意してください。

08. 頭を作ろう。



ストローを 5mm の長さにカットしておきます。ていねいにまっすぐカットしないと、後で頭の向きがおかしくなります。

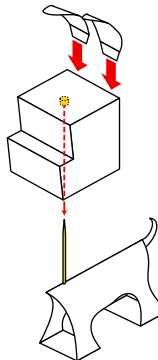


展開図のほぼ中央に目印のための小さな点があります。展開図を裏返して光にかざすと、目印が透けて見えます。その位置に鉛筆などで印をつけておきます。

後頭部の折線の上についた小さな丸印から外側に向かって切り込みを入れます。後でこの部分から耳ののりしろを差し込みます。

裏側につけた印の位置がストローの穴の中央にくるように、ストローを木工用ボンドで接着します。木工用ボンドが完全に乾いたら頭を組み立てます。頭の右側か左側のどちらかが片方を全て接着してから反対側を接着するようにすると、かわいくきれいに仕上がります。

09. いよいよ完成!



耳を接着し、胴体のつまようじを接着している木工用ボンドが完全に乾いたら、頭部を胴体の上のせてフルフルイヌの完成です。かすかな風でフルフルします。

ご注意

フルフルイヌの寿命は約 2ヶ月です。年をとるとしだいに足腰が弱ってきます。老後は湿気をさけ、あまり強風の吹かないところで余生を過ごさせてあげて下さい。



URL <http://www.untitled.co.jp/furuinu/>

E-mail furuinu@untitled.co.jp

Copyright 1999-2002 Misawa-Shinobu. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.